

親切は、人と人との出会いから生まれます。親切を受けた人の礼状には、文字に、行間に感謝の気持ちが満ち溢れています。

嶋田圭吾さんへ



前に、まずは小学校に行きました。封筒の名前を見た先生は、「この子はうちの生徒です。朝からお金をなくして、探していました。届けていただき有難うございます」と喜んでくださり、無事封筒はF君の元にもどりました。

小学校5年生のF君は、朝、家から持ってきたはずの給食費を入れた封筒が見当たらず途方にくれていました。どうしよう……。

一方、熊本銀行天水支店にお勤

めの嶋田圭吾さん

(27)は午前中に営業活動に外出した際、道端で封筒を拾いました。封筒には名前が書かれていたことから、支店の並びにある小学校のお子さんの落し物ではないかと、警察に届ける



その日の午後、F君とお母さんがお礼を言い支店を訪れ、「一文字一文字心を込めて書いたお礼の手紙を嶋田さんへおくりました。

國本康仁様へ

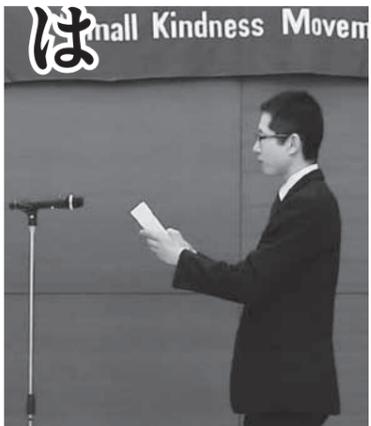


有難う 有難う 有難う 有難う
有難う 有難う 有難う 有難う
ありがとうございます ありがとうございます
ありがとうございます ありがとうございます
アリガトウ アリガトウ アリガトウ
アリガトウ アリガトウ アリガトウ
本当に、本当に、本当に有難うございました。

(中略)

小生、今、生きている喜びをひしひしと感じています。

◆ 鈴鹿山脈の笠岳で道に迷い110番で助けを求めた男性(69)から、三重県四日市西警察署の國本康仁巡査



受章者代表として謝辞を述べる國本巡査部長

部長(38)に礼状が寄せられました。男性は休日を利用して、三重県菰野町の登山口より約2時間かけて鈴鹿山脈のネコ三角点(約614m)に登りました。初めてのルートだったので、道に迷わぬよう慎重に登り、各所でタイムを記録し、目印や風景の写真を撮影。「あとは反射板から下るだけ」と、早めの下山を開始したのですが、道標が見当たりません。この時、既にルートから外れていたのですが、引き返すことなく南へ下り続けると、自分のいる場所が全く分からなくなっていました。焦りと不安に駆られ110番した際、「そこから動かないで！」という指示があったものの、心が急いで茶色のリュックをその場において偵察に出かけてしまいました。その結果、リュックを置いた場所に戻れなくなり、山の中を歩き回ることに。その後、救助隊と出会い助けられました。男性が発した言葉は、「沢で大切なデジカメ等が入ったリュックを紛失した。残念だが仕方がない。助けていただいていた有難うございます。」

登山者にとって山行記録(コースタイム、コース状況、写真)は大切なもの。男性の心情を察

Small Kindness Movement

「小さな親切」実行章

感謝のしるし

した國本さんは、翌日の休みを利用して、一人で男性が紛失したリュックの捜索に出かけました。粘り強く捜索した結果、男性の記憶とは異なる場所で発見。すっかり諦めていた男性の元にリュックは戻りました。

後日、國本さんは三重県本部主催の警察官実行章贈呈式(2月9日開催)で表彰され、受章者代表として謝辞を述べました。



事務局を訪ねてくださった永井さん。運動本部のホームページのFaceBookでも紹介しています



代表の鈴木悠真さんが表彰を受けました

2月10日のことでした。私の不自由をとっさに見つけて腕を貸して下さい、車にうまく乗せてくれました。相手の身になって、すぐに的確な手助けができること！ そのあたたかい気配りがとても嬉しかったです。

帰りも永井さんをお願いしました。いつも通り、時間外にもかかわらず管理人さんが出迎えてくれました。朝と同じ運転手さんで安心した様子でした。「今日の運転手さん、最高ですね。早くお伝えしたくて」と、彼女。「あんなに優しく、気の付く管理人さんは初めてです」と永井さんが感心していらしたのを、私も彼女に伝えました。私ども三人の幸せな出会いとなりました。このご縁を大切に、感謝で過ごしたく思っております。

◆ 永井勝晴さん(50)は、東京・三和交通(株)のタクシー運転手さん。親身な応対でこれまでたくさんの方の利便に喜ばれてきましたが、今回は満80歳となるご婦人から嬉しい礼状をいただきました。

◆ 永井さんのように、全てのタクシーと利用者にとって快適な出会いがいっぱいありますよう、願うばかりです。

さあ、頑張ろう



山形市の代表駅であるJR山形駅東口前で、早朝6時から、頑張ろうな肉体の若者たちが集まって清掃活動に励んでいます。彼らは、実務経験が3年未満の独身警察官が所属する山形警察署独身会「洗心会」(42名)のメンバーです。

地域の清掃グループ「山形掃除に学ぶ会」の呼びかけで、平成21年から

「ゴミはたばこの吸い殻や空き缶などで、毎回60リットルのゴミ袋6個分にもなります。さらに、雑草除去も行い、ごみのない街に大変身。同会が清掃活動に参加するようになったそもそのきっかけは、自主的にカーブミラーを磨く活動をしてきたこと。地域住民が安全に生活できる街づくりを願ったことでした。『ゴミが多いところには犯罪が起る』と言われます。山形の玄関口を清掃することによって犯罪の防止につながればと思います。月に一度の清掃活動を継続しています」と、代表の鈴木悠真さん。

制服を脱いだの彼らの気さくな活動は、安全で住みよいまちづくりの一役買っています。

◆ ごみのない道は気持ちのいいもの。そんな時、誰かがみんなのために掃除をしている姿を想像することが大切です。